

地水火風

牧野 恒一

実は、我が家は浦安市

内にある。浦安市は、先日の東日本大震災では液状化で大きな被害を受けた。幸い、我が家は壊れたり傾いたりしなかったため、ライフラインが復旧すると元の生活に戻る

ことができたが、一時は私も、紛れもない被災地住民（被災者）というほどではない）だった。壊滅的な被害を受けた津波被災地や原発事故による避難区域のことを考えれば、液状化被害くらいで「被災地」というのははばかられるが、浦安でも今なお家が傾いたり水洗トイレが使えなかりたりする方もおられるので、れっきとした「被災地」には違いない。

長く防災に関わって来た私は、必然的に、ライフラインや生活環境の復旧、生活情報の提供など自主防災活動にかかわ

るようになった。実際にこの種の活動にかかわっていると、この程度の「被災地」でも、他の地域の参考になりそうなのは沢山ある。

というわけで、本稿では、私のささやかな体験をもっとひとし体験をしておられる多くの方々

に気兼ねしつつ、おそろおそろ紹介してみること

としたい。 「東日本大震災における浦安の液状化被害」 大地震の当日は職場で一泊した。この日に備えて用意していたエアマットと寝袋を取り出し、「備えあれば憂いなし」と自慢しながら快適な夜を過ごした後、一夜明けて動き出した地下鉄に乗って、翌朝早く帰宅した。 家の中から「液状化で団地の中が大変だ」と連絡を受けていたが、地下鉄

の駅を降りても、風景は都内と変わらない。「この程度で大げさに騒ぐなんて」と思いながら新市街地のある海の方に向かって歩いたが、湾岸道路を越えた辺りから風景が一変した。

1 m近く段差のできた

という風情になって来たのにはビックリした。後に調査に行った、仙台市の中心部より、よほどひどいくらいだ。

我が家のある団地にたどり着くと、団地内道路や緑地の一部にひび割れ

たり噴砂現象の跡があった

多かれ少なかれ、沈んだ

り傾いたりしてしまったりは、盛り上がりたり凹んだりしている歩道や道路。沈んだり浮き上がった

傾いた。大ききび割れ

た状態になるのは免れな

かった。

市内の建物のうち、団地内共同住宅やマンションで傾いたり壊れたりしたものはあまりなかった

が、戸建て住宅地域では7〜8割近くの建物が、

同対策本部を立ち上げ、

以後3日間は事実上その

本部長となつて（4日目以降は、復旧事業費を所管する管理組合理事長が本部長となつた）、団地

内の復旧作業と住民への生活情報の提供に当たった。液状化地域である利

力所で起きた水道管、ガ

ス管の折損箇所の補修、

団地内通路のひび割れや

段差の応急補修、駐車場と敷地内道路との間に

きた段差の解消、及び、

噴砂・噴水現象で吹き出した泥土の片付けだ。団地内下水配管について

は、これが破損している

ので、居住者の中にいる専門家に応急点検してもらった。その結果、「傷んでいるが、水だけなら

こんな時に備え、我が

団地には自主防災組織がある。不肖私はそのリーダーを務めている。帰宅後すぐに、自主防災組織と自治会と管理組合の

合同対策本部を立ち上げ、

以後3日間は事実上その本部長となつて（4日目以降は、復旧事業費を所管する管理組合理事長が本部長となつた）、団地内の復旧作業と住民への生活情報の提供に当たった。液状化地域である利

力所で起きた水道管、ガ

ス管の折損箇所の補修、

団地内通路のひび割れや

段差の応急補修、駐車場と敷地内道路との間に

きた段差の解消、及び、

噴砂・噴水現象で吹き出した泥土の片付けだ。団地内下水配管について

は、これが破損している

ので、居住者の中にいる専門家に応急点検してもらった。その結果、「傷んでいるが、水だけなら

「生活情報の収集と提供」

ガスや水道の復旧見込み、給水車が来る時間と

同時に、各戸配布する

しほらくすると、市からの災害関連情報が携帯メールで提供されていることがわかり、そのことを住民に知らせたため、

同時に、各戸配布する

しほらくすると、市からの災害関連情報が携帯メールで提供されていることがわかり、そのことを住民に知らせたため、

立て看を作った。阪神・淡路大震災の時の報告を

読んで、いつかは必要になるかも知れない、と備蓄しておいた合板と模造紙が役に立った。普段は、お祭り等の際に、「おでん」、「焼き鳥」などと書いて立て看に使っているもの。もし、停電して

立て看は原始的な情報

媒体だが、住民が続々と

見に来たのにはビックリ

した。ITによる居住地内ネットワークシステムを完備している新しいマンションや団地から見れば噴飯ものかも知れないが、被災地では、皆どんな情報でも欲しいが、

同時に、各戸配布する

しほらくすると、市からの災害関連情報が携帯メールで提供されていることがわかり、そのことを住民に知らせたため、

立て看を作った。阪神・淡路大震災の時の報告を

読んで、いつかは必要になるかも知れない、と備蓄しておいた合板と模造紙が役に立った。普段は、お祭り等の際に、「おでん」、「焼き鳥」などと書いて立て看に使っているもの。もし、停電して

立て看は原始的な情報

媒体だが、住民が続々と

見に来たのにはビックリ

した。ITによる居住地内ネットワークシステムを完備している新しいマンションや団地から見れば噴飯ものかも知れないが、被災地では、皆どんな情報でも欲しいが、

同時に、各戸配布する

しほらくすると、市からの災害関連情報が携帯メールで提供されていることがわかり、そのことを住民に知らせたため、

立て看を作った。阪神・淡路大震災の時の報告を

読んで、いつかは必要になるかも知れない、と備蓄しておいた合板と模造紙が役に立った。普段は、お祭り等の際に、「おでん」、「焼き鳥」などと書いて立て看に使っているもの。もし、停電して

立て看は原始的な情報

媒体だが、住民が続々と

見に来たのにはビックリ

した。ITによる居住地内ネットワークシステムを完備している新しいマンションや団地から見れば噴飯ものかも知れないが、被災地では、皆どんな情報でも欲しいが、

液状化被害と自主防災活動の体験（その1）

「東日本大震災における浦安の液状化被害」 大地震の当日は職場で一泊した。この日に備えて用意していたエアマットと寝袋を取り出し、「備えあれば憂いなし」と自慢しながら快適な夜を過ごした後、一夜明けて動き出した地下鉄に乗って、翌朝早く帰宅した。 家の中から「液状化で団地の中が大変だ」と連絡を受けていたが、地下鉄の駅を降りても、風景は都内と変わらない。「この程度で大げさに騒ぐなんて」と思いながら新市街地のある海の方に向かって歩いたが、湾岸道路を越えた辺りから風景が一変した。 1 m近く段差のできたという風情になって来たのにはビックリした。後に調査に行った、仙台市の中心部より、よほどひどいくらいだ。 我が家のある団地にたどり着くと、団地内道路や緑地の一部にひび割れ

たり噴砂現象の跡があった。多かれ少なかれ、沈んだり傾いたりしてしまったりは、盛り上がりたり凹んだりしている歩道や道路。沈んだり浮き上がった。 傾いた。大ききび割れ

た状態になるのは免れなかった。 市内の建物のうち、団地内共同住宅やマンションで傾いたり壊れたりしたものはあまりなかったが、戸建て住宅地域では7〜8割近くの建物が、

同対策本部を立ち上げ、以後3日間は事実上その本部長となつて（4日目以降は、復旧事業費を所管する管理組合理事長が本部長となつた）、団地内の復旧作業と住民への生活情報の提供に当たった。液状化地域である利

力所で起きた水道管、ガス管の折損箇所の補修、団地内通路のひび割れや段差の応急補修、駐車場と敷地内道路との間に

きた段差の解消、及び、噴砂・噴水現象で吹き出した泥土の片付けだ。団地内下水配管については、これが破損している

ので、居住者の中にいる専門家に応急点検してもらった。その結果、「傷んでいるが、水だけなら

「生活情報の収集と提供」

ガスや水道の復旧見込み、給水車が来る時間と同時に、各戸配布する

しほらくすると、市からの災害関連情報が携帯メールで提供されていることがわかり、そのことを住民に知らせたため、

立て看を作った。阪神・淡路大震災の時の報告を

読んで、いつかは必要になるかも知れない、と備蓄しておいた合板と模造紙が役に立った。普段は、お祭り等の際に、「おでん」、「焼き鳥」などと書いて立て看に使っているもの。もし、停電して

立て看は原始的な情報媒体だが、住民が続々と見に来たのにはビックリした。ITによる居住地内ネットワークシステムを完備している新しいマンションや団地から見れば噴飯ものかも知れないが、被災地では、皆どんな情報でも欲しいが、

同時に、各戸配布する

しほらくすると、市からの災害関連情報が携帯メールで提供されていることがわかり、そのことを住民に知らせたため、

立て看を作った。阪神・淡路大震災の時の報告を

読んで、いつかは必要になるかも知れない、と備蓄しておいた合板と模造紙が役に立った。普段は、お祭り等の際に、「おでん」、「焼き鳥」などと書いて立て看に使っているもの。もし、停電して

立て看は原始的な情報媒体だが、住民が続々と見に来たのにはビックリした。ITによる居住地内ネットワークシステムを完備している新しいマンションや団地から見れば噴飯ものかも知れないが、被災地では、皆どんな情報でも欲しいが、